

【四国中央支部】

<支部紹介>

「生涯にわたり、心身ともに健康なライフスキルを確立するための支援の在り方」を研究主題に、小学校19名（中学校兼務1名を含む）、中学校6名、計25名で活動している。若年層が多い支部であるが、年7回の研修会を開催し、養護教諭としての資質向上を目指して研修に励んでいる。

<活動報告>

1 活動内容

(1) グループ別研修

今年度から2年計画で「健康相談」「学校救急看護」「性に関する指導」の三つのグループに分かれて研修に取り組んでいる。

健康相談グループ	中等度肥満以外の個別指導資料作成（高血圧・高脂血症・貧血）
学校救急看護グループ	ヒヤリハット事例研修、応急手当に関する実技研修
性に関する指導グループ	年間指導計画の見直し、指導案や指導資料（スライド・ワークシート）の作成

(2) 健康教育合同研修会（8月9日）

講演：「思春期の心の理解と支援 ～具体的な事例を通して考える～」

講師：カウンセリングスペース PAS À PAS 臨床心理士 中島 珠実 様

保健主事・栄養教諭・養護教諭が参加した。具体的な事例を通して、思春期の心を理解するためにできることや、小学校高学年や中学生・高校生のSOSの出し方、受け止め方など思春期の子どもたちと関わる際に重要な視点について学びを深めた。

(3) 四国中央市学校保健講演会（8月22日）

講演：「思春期の子ども性の理解しましょう」

～学校・家庭における性教育について、正しい知識と今後の取組～

講師：愛媛県立医療技術大学 看護学科教授 中越 利佳 様

医師会・歯科医師会・薬剤師会・PTA・学校関係者等が参加した。思春期の身体や心の変化、性に関する諸問題、これからの性教育の考え方、家庭での性教育について学びを深めた。

(4) 四国中央市学校保健研究会（10月9日 授業研究：四国中央市立小富士小学校）

学級担任と養護教諭がティームティーチングで行う、体育科保健領域「体の発育・発達」の単元の授業を参観した。班別協議、全体協議を行った後、指導担当校長から指導助言をいただいた。保健主事も参加し、多様な意見を出し合うことで、多角的な視点から協議を深めることができた。



【新居浜支部】

<支部紹介>

新居浜支部は、小学校 16 名、中学校 12 名の計 28 名で活動している。

若年層が多い支部であるが、それぞれの年代の良さを発揮し、互いに学び合い、協力しながら、養護教諭としての資質・能力の向上に努めている。

<活動報告>

1 研究主題

生涯にわたり、心身ともに健康なライフスタイルを確立するための支援の在り方

2 活動内容

(1) グループ研修

今年度は、新しく四つのグループに分かれて研修を重ねている。

テーマ	内容
アレルギー対応検討	給食がセンター化になり、全ての子どもたちが安全・安心に給食が食べられるように、市内の栄養教諭、関係教職員と共に検討を重ねている。 市内統一のアレルギー対応方法をまとめたマニュアルの確認、見直しを行っている。
スズキ校務&虎の巻	新居浜市養護部会では、新居浜市に勤務する養護教諭の執務のヒントとなる「執務の手引き～虎の巻～」というファイルを作成している。 スズキ校務と「執務の手引き～虎の巻～」について、コロナ禍を経て変わった点や追加事項を見直し、まとめている。
校内救急体制	校内救急体制の見直し、校内資料のひな型等を作成している。
教職員健康診断	健康診断一斉化へ向けて関係機関との相談、情報提供、取りまとめを行っている。

(2) 外部講師による研修

「成長曲線について」

講師 県立新居浜病院 小児科医 竹本 幸司 先生



【西条支部】

<支部紹介>

西条支部は、小学校25校、中学校10校で構成されており、35名で活動している。養護教諭等としての資質向上を目指し、共に学び合い、連携を図りながら養護教諭等同士のつながりを大切にした活動を進めている。

<活動報告>

1 研究主題

児童生徒一人一人が生涯にわたり、心身ともに健康なライフスタイルを確立するための支援の在り方 ～連携・協働・見直し～

2 活動内容

(1) グループ別研修

今年度は、5グループに分かれ、令和2年度より運用している校務支援システム取扱マニュアルの見直しを行った。時代の流れに合わせて様式や内容をアップデートしていくことで職務の効率化を図り、より使いやすいマニュアルに改正しているところである。また、校区別のグループに分かれて、情報共有・情報交換も行った。養護教諭等として、日々困っていることや不安に思っていることが軽減できるよい研修の場となった。

(2) 多賀昌樹先生による学校訪問指導

西条市では、平成29年度から和洋女子大学健康栄養科准教授の多賀昌樹先生による学校訪問指導を実施している。今年度も市内5校が「睡眠・食事の大切さ」「望ましい生活習慣とスクリーンタイムについて」など生活習慣に関するオンライン指導を受講した。

(3) 講話

ア 実技講習「赤十字講習会」

講師：赤十字救急法指導員 阿部 紗弓 様

イ「健幸アンバサダー養成講座 ～健康に関する正しい知識を身近な人に伝えよう～」

講師：西条市こども健康部 健康医療推進課 梶原 裕子 様



【今治・越智支部】

<支部紹介>

今治・越智支部は「生涯にわたり、心身ともに健康なライフスタイルを確立するための支援の在り方～養護教諭の専門性を生かし、ICTを効果的に活用した保健教育の研究を通して～」を研究主題に、小学校 28 名、中学校 16 名、計 44 名で活動している。横のつながりと共に学び合う姿勢を大切にし、養護教諭としての資質向上を目指して活動している。

今年度は全体での研修会に加え、ブロック別の研修会を実施した。情報交換や情報共有の場となり、近隣校の連携を深めることができた。

<活動報告>

1 活動内容

(1) 養護教員・学校給食栄養士合同研修会（7月1日）

ア 講演「子供からアンチエイジング～小児から大切な生活習慣病予防～」

講師 愛媛大学医学系研究科抗加齢医学（新田ゼラチン）講座教授

愛媛大学抗加齢・予防医療センター長 伊賀瀬 道也 先生

生涯にわたり健康に過ごすために生活習慣病発症に深く関わるサビ・コゲ・カビを抑制すること、また、体内時計を考慮に入れた栄養学、運動について講演をしていただいた。生活習慣病予防検診後の個別指導に生かせる研修となった。

イ 生活習慣病予防検診個別指導について学校給食栄養士との打合せ

(2) 養護教員研修会（7月31日）

ア 講演「Afterコロナの子どもの心と体のケア・虐待予防」

講師 愛媛県立今治病院 副院長 松田 修 先生

子どもの心の変化に気づき耳を傾けること、多職種で関わり温かく見守ることの重要なポイントについて講演していただいた。養護教諭は虐待を早期発見できる立場であり、子どもの心と体のゲートキーパーであることを再認識した研修となった。

イ ブロック別研修

小児生活習慣病予防検診後の個別指導及び継続指導の充実を図るための指導資料の検討を行った。

(3) 養護教員研修会（12月6日）

ア 講演「保健教育について」

講師 愛媛県総合教育センター 指導主事 和田 知子 先生

保健教育における効果的なICT活用の仕方、授業の評価、養護教諭の専門性を生かした授業について学び、充実した研修となった。

イ ブロック別研修の報告



2 その他

(1) 教職員向け保健だより「お元気ですか」を年3回発行

(2) 今治・越智養護教員部「部報」を年度末に発行

【松山（小）支部】

<支部紹介>

松山市小学校支部は、松山市立小学校数53校（複数配置校7校）、計55名（産休・育休含）のほか、愛媛大学教育学部附属小学校に所属する計56名の会員で構成されている。年齢は、20代5名、30代15名、40代19名、50代以上17名で、年3回の主任会、夏季実技研修会のほか、近隣校で6つのブロックに分かれて研究テーマに沿った研究を進めている。

<活動報告>

1 活動内容

(1) 養護主任会（4月19日、7月23日、2月10日）

努力目標を「児童が生涯にわたって健康な生活を送るために必要な力を育成する健康教育の研究と実践」として、各校で実態に応じた健康教育を推進すべく、6つのブロックに分かれて3年サイクルで研究を推進している。1年目の今年度は、各ブロックで研究目標の設定と計画の立案をして、次のような内容で計画を進めている。

ブロック	研究テーマ	研究内容
A	課題対策研究	<ul style="list-style-type: none"> 松山市教育委員会からの依頼内容について研究する。（中学校養護主任会Fブロックと連携し、問診票デジタル化に取り組んでいる。） 依頼がない場合には、課題を設定して研究するが、3か年の途中で依頼があれば、平行して研究を行う。 ICTを活用した健康診断に関する指導資料の作成
B	健康相談研究	<ul style="list-style-type: none"> 健康相談に関する資料作成
C	調査・統計研究	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣に関するアンケートの作成と集計
D	表簿作成研究	<ul style="list-style-type: none"> 表簿の保管年数資料や学校保健マニュアルの作成（中学校養護主任会Eブロックと連携）
E	保健教育研究	<ul style="list-style-type: none"> 月毎の健康課題に応じた保健教育の指導資料の作成（パワーポイント資料や校内放送資料等）
F	広報研究(教職員向け)	<ul style="list-style-type: none"> 教職員向け保健便り「ま〜どんな？」の作成

(2) 養護主任会夏季実技研修会（7月23日）

ア 研修 テーマ 「問診票のデータ処理方法『配付までの処理、回収後の処理』について」

久米小学校の坪井純子養護教諭を講師として、耳鼻咽喉科検診と眼科検診の問診票をフォームズのアンケート機能を使用して配付・回収・抽出する方法について、実技研修を行った。

(3) 市教研養護教員研修会（8月26日） ※松山市小中合同開催

ア 講演 演題 「子どもの事実から養護教諭をリーダーに『学校づくり』を問い直す」

講師 大阪市立大空小学校初代校長 木村 素子 先生

イ 指導講話 松山市教育委員会保健体育課 古田 まみ 指導主事

ウ 要望事項 市教研養護教員部長 雄新中学校 瀧平 恵 先生

【松山（中）支部】

<支部紹介>

松山市中学校支部は、学校数29校（複数配置校1校）、計30名で活動している。20代2人、30代5人、40代7人、50代以上16人で構成されており、年3回の全員が集合する主任会と、近隣校で構成する6ブロックに分かれて、研究テーマに沿った研究を進めている。

<活動報告>

1 活動内容

(1) 養護主任会（5月2日、7月31日、1月29日）

努力目標を「生徒一人一人が主体的に健康の保持増進を目指す健康教育の研究と実践」とし、6ブロックに分かれて3年サイクルで研究をしている。今年度は1年目として、各研究テーマに沿った内容の計画・研究を進めている。

ブロック	研究項目	研究内容
A	資料研究	小中引継ぎ書
B	統計	心と体のアンケート ～基本的な生活習慣に関する調査～ 4つのテーマを4年サイクルで実施。各学年1クラス抽出
C	資料研究	特別支援学級における性に関する指導
D	資料研究	性に関する指導
E	資料研究	保健マニュアルの研究（小学校養護主任会Dブロックと連携）
F	調査研究	問診票デジタル化の研究（小学校養護主任会Aブロックと連携）

(2) 養護主任会夏季実技研修会（7月31日）

ア 研修

テーマ「問診票のデジタル化を想定したフォームズの実技研修」

松山市教育研修センターにて、一人1台のタブレットパソコンを使い、耳鼻科と眼科の問診をフォームズで行う方法や、回答を受けた後の抽出方法について、実技研修を行った。

(3) 市教研養護教員研修会（8月26日） ※松山市小中合同開催

ア 講演

演題 「子どもの事実から養護教諭をリーダーに『学校づくり』を問い直す」

講師 大阪市立大空小学校初代校長 木村 素子 先生

イ 指導講話

松山市教育委員会保健体育課 指導主事 古田 まみ 先生

ウ 要望事項

市教研養護教員部長 雄新中学校 瀧平 恵

【附属支部】

<支部紹介>

附属支部は小学校、中学校、特別支援学校の養護教諭3名で構成されており、愛媛大学附属学校園の共通理念である「未来を拓く人材の育成」を念頭に、それぞれの学校の特色を生かして学校保健活動を進めている。本学校園は一つの大学附属校園に5校種あり、高等学校を除く4校園が同じ敷地内に隣接している。そのため各校園を行き来し、高等学校を含めた養護教諭5名で連携を図りながら研修を行っている。

また、大学附属の特色を生かし、大学教員に研究パートナーを依頼して、相談したり指導助言を受けたりしながら、研究・研修を進めている。

<活動報告>

1 5校園養護教諭研修会

年間4回程度実施している。幼稚園児から高校生まで各発達段階における課題や、各校での取組について情報を共有し、研修を進めている。4月には大学附属合同研修会があり、不登校傾向や心理的な課題を抱える児童生徒への対応について、愛媛大学の臨床心理学の教員を交えて検討し、専門的な立場から助言をいただいた。1月にも、愛媛大学の臨床心理学専門教員の講話を聞く機会を設けており、今年度は、児童生徒の心理面における発達や課題に焦点を当てて研修を深めている。

2 実習生への指導

附属学校園では、愛媛大学医学部看護学科から養護教諭を目指す学生（「養護実習」）や保健師を目指す学生（「学校保健実習」）を受け入れている。4週間にわたり実習を行う「養護実習」では、教育学部の学生と共に学び合い、児童生徒と関わり、学校保健や養護教諭の役割について理解を深めるものである。また、実習期間中に実習校だけでなく他の4校園で実習する機会を設け、発達段階の異なる様々な年齢の子どもたちとも関わるようにしている。

養護実習の事前指導では、附属校園の養護教諭が情報を共有し、実際に現場で起こりやすいけがや判断に困る事例などを挙げ、ロールプレイを行いながら学生への指導を行っている。今年度は前腕部の骨折の手当、頭部打撲の対応の仕方について実施した。

学生の指導を通して、他の養護教諭の児童生徒への対応方法を知ることができ、自分自身の振り返りや学びにもつながった。



3 研究・研修

(1) 全国国立大附属学校連盟養護教諭部会第59回研究協議会並びに総会（8月8～9日、富山県）

ア 文部科学省基調講演「養護教諭のさらなる資質向上を目指して」

講師 文部科学省初等中等教育局 健康教育・食育課 健康教育調査官 川畑 千種 様

イ 特別講演「睡眠は健康と命の総合メンテナンス」

講師 富山大学名誉教授 神川 康子 様

(2) 全国国立大附属学校連盟養護教諭部会四国地区会（9月9日、オンライン）

【東温支部】

<支部紹介>

東温支部は、「生涯にわたり、心身ともに健康なライフスタイルを確立するための支援の在り方」をテーマに研究を進めている。小学校7名、中学校2名、合計9名の会員で構成され、年齢構成も学校規模も様々であるが、少人数の強みを生かし、「つながり・互いに学び合う」ことを基本に、養護教諭としての資質向上を目指して活動している。

<活動報告>

1 活動内容

(1) 第1回東温市養護教員研修会（4月19日）

ア 今年度の研修計画について

イ 情報交換

ウ 指導助言 東温市養護部会顧問 西谷小学校 校長 熊田 堅

(2) 第2回東温市養護教員研修会（8月7日）

ア 講演①「災害時における保健室の機能と養護教諭の役割」

講師 慶應義塾大学環境情報学部

准教授 大木 聖子 様

新しい避難訓練を通して子供が今何をすべきなのか、自分より困っている人はいないかを考え、教職員と子供が協力して命を守り抜くことの大切さを痛感した。養護教諭として子供たちの命を守るための避難訓練に関わっていききたい。



【第2回 研修会の様子】

イ 講演②「学校防災はいのちの教育実践 ～養護教諭の視点で～」

講師 長野市立七二会小学校 養護教諭 降旗 秀美 様

防災教育を「自分の体や命を守る教育」として、長年にわたり取り組まれたことをもとに、学校保健委員会を核にした避難訓練の見直し、防災授業（参観日）、職員研修、防災ミニ指導など、学校・家庭・地域社会がつながる防災教育について学ぶことができた。

(3) 第3回東温市養護教員研修会（12月16日）

ア 講演 「これからの東温市の性に関する指導について」

講師 食愛♡Kitchen ～くうらぶ♡きっちゃん～ 主宰 菊池 準子 様

幸せに生きていく力となる性の学びにつながる「包括的性教育」について理解を深めることができた。

イ 意見交換

(4) 第4回東温市養護教員研修会（3学期開催予定）

ア 今年度のまとめと反省

イ 情報交換

ウ 指導助言 東温市養護教員部顧問 西谷小学校 校長 熊田 堅

【伊予支部】

<支部紹介>

伊予支部は、伊予市、松前町、砥部町の3市町24校25名（小学校17名、中学校8名）の会員で構成されている。支部全体で集まるのは年に3回で、通常は、それぞれの実態をふまえ各市町でテーマを決めて研修活動を進めている。互いに学び合いながら養護教諭としての資質向上を目指している。

<活動報告>

1 支部全体での活動

(1) 伊予地区教科等研究集会（4月17日）

伊予支部全体での顔合わせをするとともに、今年度の役割分担や研修について話し合い、共通理解を図った。

(2) 伊予地区養護教員部夏季研修会（8月8日）

スクールソーシャルワーカーの今村聖子先生に御講演いただき、スクールソーシャルワーカーの役割や学校との連携などについて研修した。

(3) 伊予地区養護教員部冬季研修会（12月20日）

ア 各地区の活動経過報告

イ 小・中学校別部会

校種規模別に分かれて、学校保健委員会や健康診断、感染症対応、その他日々の執務について話し合いを行った。他校の取組を聞いたり、情報交換をしたりすることで、不安や悩みの共有ができ、今後の執務の参考となる研修になった。

2 各市町での活動

(1) 伊予市

「性に関する指導の充実」を研究テーマに小中学校部会に分かれて活動した。

小学校部会では4年生の体育科保健領域「体の成長とわたし」の单元について、指導案および教材の作成を行った。

中学校部会では、毎年実施している「思春期教室」について、医療技術大学・中予保健所の担当者とは打ち合わせを重ね、より生徒の実態に合う内容となるように改善を図った。

(2) 松前町

校務支援システムを活用して、健康診断票の電子化に向け取り組んだ。町内で、研修・情報共有しながら各校で入力し、年度末には完全移行できるようにしている。

また、昨年度末に実施された耳鼻科・眼科校医との連絡会で視力低下が問題になり、その手立ての一つとして令和6年度入学の1年生に簡易式の「視力検査表」を教育委員会の協力を得て、配布した。

(3) 砥部町

校務支援システムの来年度の完全実施に向け、各種帳票の改善点等の手直し作業を行った。また、活用に向け、教育委員会と連携し、保健調査票と運動器検診問診票を町内統一の様式へ変更したり、就学時健康診断票を複写式様式に変更したりするため、内容や形式等の検討を行った。

【上浮穴支部】

<支部紹介>

上浮穴支部は小学校9名、中学校2名の11名で活動している。年齢層は20代から50代まで幅広い。横のつながりを大切にしながら、共に学び合う姿勢を大切にし、養護教諭としての資質の向上を目指して活動している。

今年度は平成30年度に上浮穴支部で作成した性に関する指導の資料集「かがやき」の改訂を行っている。小学校低・中・高学年と中学校の計4グループに分かれて話し合い、多様に変化する時代や社会の流れに即した内容になるよう年間指導計画や指導案を再検討している。

<活動報告>

1 研究主題

生涯にわたり、心身ともに健康なライフスタイルを確立するための支援の在り方
～性に関する指導の進め方について～

2 活動内容

(1) 第1回養護教員研修会（6月25日）

- ア 今年度の年間活動計画の検討
- イ グループ別活動計画の検討

(2) 第2回養護教員研修会（8月19日）

- ア グループ別研修
- イ 全体協議、情報交換他

(3) 第3回養護教員研修会（11月19日）

- ア 公立学校共済組合教職員厚生室による教職員メンタルヘルス対策推進事業説明会
- イ グループ別研修・活動報告
- ウ 全体協議、情報交換他

(4) 第4回養護教員研修会（3学期）

- ア 研究のまとめ・活動の反省
- イ 次年度の計画

3 その他の研修会

- 久万高原町特別支援連携協議会・郡学校保健会夏季研修会（8月1日）
「なんかズレてるじんせい」講師 できるだけ前向きな当事者会 理事長 井門 明日香 先生
- 上浮穴消防署による上級救命講習会への参加（3学期）

【大洲支部】

<支部紹介>

大洲支部は「生涯にわたり、心身ともに健康なライフスタイルを確立するための支援の在り方」を研究主題に、小学校11名、中学校8名の合計19名で活動している。

<活動報告>

1 全体会

- (1) 第1回養護主任会（4月24日）
役員選出、活動計画立案
- (2) 第2回養護主任会（6月20日）
講話「学校健診における成長曲線および肥満度曲線の活用について」
講師 いとう小児科院長 伊藤 卓夫 先生
- (3) 第3回養護主任会（8月23日）
ア 実技「AEDを使用した心肺蘇生法の実技講習」
講師 大洲消防署 中本 洋介先生
イ 講話・実技「校務支援システム移行について」
講師 スズキ教育ソフト株式会社 奥田 凌平 先生
- (4) 第4回養護主任会（10月9日）
講話・実技「スズキ校務シリーズ 保健管理について」
講師 スズキ教育ソフト株式会社 奥田 凌平 先生 岡野 梨奈 先生
- (5) 第5回養護主任会（2月）
今年度の反省と来年度の計画

2 グループ研修

- (1) 小学校グループ
ア 就学時健康診断について情報交換（6月6日）
イ 愛媛県総合教育センター出前講座（1月28日）
講話「学校保健委員会・食物アレルギーについて」
講師 愛媛県総合教育センター 和田 知子 指導主事
- (2) 中学校グループ
帝京第五高等学校トライコース見学・講話（11月25日）
講師 帝京第五高等学校トライコース担任 藤原 聖也 先生

3 その他

- (1) 小児生活習慣病予防健診の事後措置として栄養教員部と連携した栄養相談の実施
- (2) 教職員向け「健康だより」を年1回発行

【喜多支部】

<支部紹介>

喜多支部は、小学校7名、中学校4名、計11名(養護助教諭2名を含む)で活動している。年齢構成は、20代から50代まで幅広い。横のつながりを大切にしながら、共に学び合う姿勢を大切にし、養護助教諭としての資質の向上を目指し活動している。

<活動報告>

1 研究主題

生涯にわたり、心身共に健康なライフスタイルを確立するための支援の在り方

2 活動内容

(1) 第1回内子町養護教員研修会(6月13日)

ア 今年度の研修計画

イ 小中学校別部会

ウ 養護部会発行の保護者向け保健だより『元気におはよう!』の作成について

エ 情報交換

(2) 第2回内子町養護教員研修会(8月1日)

ア 講演 「生活習慣アンケートをGoogleでとってみよう!」

講師 内子町ICT支援員 武田林業 武田 惇奨 先生

イ 成長曲線に関する保護者宛文書についての検討及び情報交換



【第2回 研修会の様子】

(3) 第3回内子町養護教員研修会(11月12日)

ア 講演 「子どもと教職員のメンタルヘルス」

講師 愛媛県総合教育センター 指導主事 高橋 信之 先生

(ア) メンタルヘルスとは

(イ) 子どものメンタルヘルス

(ウ) 教職員のメンタルヘルス

イ 情報交換



【第3回 研修会の様子】

(4) 第4回内子町養護教員研修会(2月20日開催予定)

ア 今年度の反省と来年度への志向

イ 情報交換

(5) その他

ア 保護者向け保健だより『元気におはよう!』を年2回発行する。1回目は小学校部会が担当し、「よくおこる頭部と眼部のけがの対応と学校での手続き(スポーツ振興センター)について」という内容で、10月に発行した。

イ アレルギー調査集計

【八幡浜支部】

〈支部紹介〉

八幡浜支部は「生涯にわたり、心身ともに健康なライフスタイルを確立するための支援の在り方」を研究主題に、小学校12名、中学校4名、計16名で活動している。今年度も、昨年度に引き続き、グループ別研究のテーマを「生活習慣」とし、各中学校区の小・中学校で三つのグループを編成して、研究と実践に取り組んでいる。

〈活動報告〉

【八代ブロック】
研究テーマ 「望ましい生活習慣を目指して、実態把握から得た課題を解決に導くための啓発方法の工夫」
主な実践内容 1 各校における啓発活動（授業、講演会、学校保健委員会、児童生徒保健委員会） 2 ブロック統一の啓発活動（ブロック保健だより） 3 外部講師との座談会での情報や取組の共有
【松柏・愛宕ブロック】
研究テーマ 「統合における情報共有の在り方 ～養護教諭ができる支援を繋いで～」
主な実践内容 1 個別支援シートの活用と改善 2 メディアコントロール力育成のための各校の取組の継続
【保内ブロック】
研究テーマ 「主体的に電子機器との付き合い方を考える児童生徒の育成 ～『ゲームせんデー』を中心とした取組を通して～」
主な実践内容 1 「睡眠」に関する講演会と「眠りのチェック」アンケートの実施 2 ブロック統一の啓発活動（ブロックほけんだより） 3 小中連携の取組（「メディアコントロールチャレンジ」の実施）

【市教委主催】

- 4月12日 第1回八幡浜市教育研究集会（役員選出、年間計画等）
- 6月25日 第2回八幡浜市教育研究集会（グループ別研究）
- 11月14日 第3回八幡浜市教育研究集会（講話・演習）
「緊急時の対応について」八幡浜消防署 救命救急士
- 2月下旬 第4回八幡浜市教育研究集会（グループ発表・今年度の反省と来年度への志向）

【愛教研主催】

- 5月10日 養護教員部役員会（研修計画）
- 8月21日 養護教員部研修会 西宇和支部との合同研修（講話・演習）
「学校における整形外科医の役割」べっく医院 別宮 弘先生
- 2月初旬 養護教員部役員会（反省と引継ぎ）

【その他】

- 職員緊急時連絡カードについて
- 環境衛生検査（水質検査・ダニ検査）についての要望
- 児童生徒健康診断票の電子化実現に向けての諸準備

【西宇和支部】

〈支部紹介〉

西宇和支部は、小学校5名、中学校3名の合計8名で活動している。少人数のよさを生かし、養護教諭の横のつながりや連携を大切にしながら、互いの資質向上を目指している。

〈活動報告〉

1 研究主題

生涯にわたり、心身ともに健康なライフスタイルを確立するための支援の在り方

2 活動内容

(1) 第1回研修会(6月21日)

ア 八幡浜保健所と意見交換

今後の学校現場での健康教育への関わりや連携、健康課題等について意見交換を行った。

イ ICTを活用した保健教育

ICT支援員から健康観察やアンケートについてのICT活用を、実際に体験しながら学んだ。

ウ 学校保健会資料の活用

6月に県学校保健会養護部会より配信された「ICTを活用した保健教育に関する調査・研究資料集」を基に、伊方町養護部会としての取組について考えた。

(2) 第2回研修会(8月21日) 八幡浜市養護教員部との合同研修

ア 情報交換

小グループに分かれて、日頃の業務の中から情報交換を行うとともに交流を深めた。

イ 講話と実技研修 「学校における整形外科医の役割」

講師 大洲市べっく医院 院長 別宮 弘 先生

児童生徒に多い症例を画像等で示しながら、大変分かりやすく講話していただいた。また救急処置についても、実技を交えながら丁寧に指導していただいた。

(3) 第3回研修会(8月22日)

ICTを活用した保健教育

グループフォームを活用した健康観察を小・中学校のグループに分かれて内容等を話し合った。町内で統一したものを作成し、活用できるように準備している。

(4) 第4回研修会(11月19日)

講話 「子どもたちへの支援と関わり」

講師 伊方中学校サポートルーム支援担当 元養護教諭 谷本 明美先生

養護教諭として、子どもたちへの支援と関わりについて研修した。自分自身のなりたい養護教諭像や保健室経営で大切にしたいことをワークショップ形式で考え、スキルアップにつなげた。

(5) 第5回研修会(1月開催予定)

今年度の反省と次年度の計画



【西予支部】

<支部紹介>

「生涯にわたり、心身ともに健康なライフスタイルを確立するための支援の在り方」を研究主題に小学校11名、中学校4名、合計15名で活動をしている。

<活動報告>

1 活動内容

- (1) 西予市養護部会研修会（全体会）（令和6年6月13日）

年間活動計画立案とグループ研究活動の推進

- (2) 市専門研究委員会研修会（令和6年8月1日）

ア 健康相談グループ研修（事例検討会） スーパーバイザー 伊方中学校 谷本 明美 氏

イ 講演会 演題 「子供から大人まで アンチエイジング ～食事と運動のウソホント～」

講師 愛媛大学大学院抗加齢医学講座 伊賀瀬 道也 氏

ウ グループ研究活動（子どもの健康とメディアグループ・健康相談グループ）と情報交換

- (3) 西予市教育研究大会（令和6年10月23日）

I C Tを活用した保健教育・S O S教育の学級活動と講演会の紹介

- (4) 市養護部会研修会（全体会）（令和7年1月下旬開催）

今年度の活動の反省並びに会計報告、次年度計画の立案

- (5) 中学校における生徒対象のS O S講演会の実施 ※支部ごとに小学校教職員も参加

講演 「幸せと夢実現のレシピ ～自分を満たし 自分も周りも幸せに～」

講師 日本選択理論心理学会選択理論心理士 井上 千代 氏



8/1 事例検討会の様子

2 グループ研究の活動内容

今年度は、2つのグループに分かれて研究を推進した。

<子供の健康とメディアグループ>

児童生徒自身でメディアコントロールをして、心身の健康を保つことができるよう「メディアコントロールカード」を作成した。小中学校別で各自がコースを選択し、期間限定で取り組めるよう工夫している。グループ内の中学校ではカードを活用し始めており、今後は、データ活用を容易にするために、タブレットから入力できるシステムを依頼中である。また、保健教育や保健だより等で活用できるよう「健康被害とメディア利用の関係」についての資料を作成した。今後も、適切なメディアコントロールができる児童生徒の育成のために資料作成と情報共有をしていきたい。

<健康相談グループ>

「児童生徒のS O Sの出し方に関する教育」から一歩進んで、「様々な問題の受け止め方と関わり方を学び、実践に生かす」ことをねらいとして、事例検討会を行った。講師に元養護教諭の谷本明美先生（現伊方中学校サポートルーム在籍）をお招きして、事例検討の意義や必要性について学んだ。事例検討会を通して、見立てや解決策について考え合うことで、新たな視点や支援策を学び得ることができた。今後も事例検討を積み重ねながら、関わる事例理解の視点をさらに広げ、具体的な支援へとつなげていきたい。



8/1 講演会の様子

【 宇和島支部 】

<支部紹介>

宇和島支部は、「生涯にわたり、心身ともに健康なライフスタイルを確立するための支援の在り方」を研究目標に掲げ、小学校23名、中学校6名、計29名（再任用・養護助教諭含む）で活動している。

<活動報告>

1 第1回宇和島市学校養護研究委員会（7月30日）

(1) 検討事項協議

ア 感染症情報システム

イ こころまじわうプロジェクト

ウ 校務支援システム

エ モアレ検査

オ 保健調査票

(2) 個人研究の情報交換

研究項目別に分かれて研究内容の情報交換を行った。12月には各自、報告書（A4用紙1枚程度）にまとめる予定としている。

(3) はぐくみサポートステーション「わかたけ」説明会（希望者）

2 第2回宇和島市学校養護研究委員会（12月26日予定）

(1) 来年度の計画

(2) 市教育委員会との情報交換

(3) 情報交換

3 個人研究

研究項目		主な研究内容
保健教育	生活習慣に関すること	朝食欠食、アウトメディア、食育、生活習慣病予防、ICT活用、生活リズム
	保健教育全般	保健領域の授業実践、掲示、心の健康教育、ICT活用
	性に関する指導	月経に関する実態把握、相談活動、教材研究
	委員会活動	児童生徒保健委員会の取組
校内体制	緊急時対応	校内研修、食物アレルギー対応、減災
	職務の効率	効率よく仕事のできる保健室づくり、保健室の整備
統合に向けて		

【北宇和支部】

<支部紹介>

北宇和支部は、鬼北町と松野町の2町で構成され、小学校8名、中学校2名、計10名で活動している。少人数の良さを生かしながら、養護教諭の資質向上を目指し、活動している。

<活動報告>

1 研究主題

生涯にわたり、心身ともに健康なライフスタイルを確立するための支援の在り方

2 活動内容

(1) 第1回研修会（6月18日）

ア 活動計画について

今年度は、個別研修を中心に研究を行う。

内容：「視力低下を防ぐために」「自分でできる応急手当」「不登校対応」「保健文書作成」「引継ぎ文書作成」「性に関する指導」等

イ 諸連絡

ウ 情報交換

(2) 第2回研修会（7月25日）

ア 救急法講習会

宇和島消防署の方に、心肺蘇生法、AED、包帯法の実演をしていただき、実施した。

イ 連絡事項

ウ 諸連絡

エ 情報交換

オ 町別研修会

鬼北町は健康診断について話し合った。松野町は情報交換を行った。

(3) 第3回研修会（2月予定）

ア 個別研修の発表

イ 今年度の反省と来年度の計画

【南宇和支部】

<支部紹介>

南宇和支部は、小学校8名、中学校3名、計11名（養護助教諭含む）で活動している。20代から60代までの全年代がいて、幅広い年齢層となっている。研修の際には、執務研修や情報交換の時間を設け、養護教諭同士の横のつながりや連携を深めながら研修を進めている。

<活動報告>

1 研究主題

生涯にわたり、心身ともに健康なライフスタイルを確立するための支援の在り方

2 研修会（年3回）

(1) 第1回研修会（8月27日）

ア 講話「発達障害のとらえ方」 講師 一本松中学校スクールカウンセラー 滝澤 治先生
発達障害の児童生徒への支援や対応について、今までの自分たちの関わりを思い浮かべながら聞くことができた。関わる際には、言葉や行動、思いなどをくみ取れるよう観察し、対応するための「手だて」を講じていく。そして、児童生徒が安心できる環境を学校が作っていくことが大切であることを再確認した。

イ ICTを使った実践紹介（各校）

ウ 執務研修

エ 情報交換

(2) 第2回研修会（11月21日）

ア 保健師との情報交換

「学校との連携について」

愛南町保健福祉課 長田 亜紀 保健師

学校と保健福祉課の連携が必要なときはどんなときか、連絡を取りたいときはどうするかについて再確認することができた。また、要保護児童対策地域協議会の組織について、仕組みや役割についても理解することができた。保健福祉課が行う母子保健事業についても知ることで、今後も連携の必要性を感じた。

イ 執務研修

ウ 情報交換

(3) 第3回研修会（2月予定）

ア 今年度の反省と来年度の計画

イ 執務研修

ウ 情報交換

